

民間交流団体の紹介



NPO法人日本ネパール 人づくり協力会

事務局長 福井 龍介さん

▲山根さんが32年前に開設したRHESC診療所(カトマンズ)

当会は、1962年からネパールの僻地で医療活動を続けた鳥取大学医学部出身、「アジアのノーベル賞」と呼ばれたマグサイサイ賞の受賞者、故岩村昇博士の支援をきっかけに、今から37年前の1981年に米子市で設立しました。ネパールからの研修生受入、日本からのボランティア派遣に始まり、鳥取県の若者を2年に一回ネパールに10日間派遣しホームステイなどで交流する「鳥取県ネパール青年の翼」事業を12回(延22年間・約400名)開催しました。1986年からは、主に地元大山町出身の看護師山根正子さんと山根さんが現地の人々と設立した診療所RHESC(スタッフ20名)のサポートを続けています。

47歳で単身ネパールへ行き34年間医療奉仕活動をしている山根さんは、今年3月に81歳の誕生日を迎えました。5年前には、永年の夢が叶い、ネパールで初めての政府公認鍼灸学校(3年制)を開設できました。経営は厳しいですが、現在40名近くの若者が日本の鍼灸を学び、既に2期生が鍼灸師として巣立っています。RHESC鍼灸学院の女性校長モンジュさんはかつて米子市内森田産婦人科医院に寄宿し、米子市立福原小学校で日本語

を勉強、その後東京の鍼灸学校を首席卒業し、RHESC診療所でずっと勤務しています。

当会の現在のミッションは、山根さんとRHESC診療所を支える事です。昨年山根さんの活動がNHKワールドの30分番組として世界中に放映されたり、国内TVに度々取り上げて頂き、支援の輪も広がっています。ネパールの山根正子さんへのご支援をお願いします。



▲RHESC診療所の皆さんと

お問い合わせ

〒683-0805
米子市西福原6-19-29 株式会社フィディア内
NPO法人日本ネパール人づくり協力会
TEL/0859-33-1073 FAX/0859-32-6396
URL/http://www.jnha.net



米子国際交流協会

会長 中井 大造さん

▲バーベキュー大会

米子国際交流協会は、今年で設立28年になります。もともと外国人と交流したいという有志が集まって「米子国際交流友の会」という集まりができ、しばらくして正式に米子国際交流協会が発足しました。

会の目的は、米子市と周辺に住む外国人の方たちとの交流を通して外国の文化を知り、また日本の文化について外国の方達に知ってもらい、併せて滞在支援をするというものです。現在の主な活動は、料理教室、夏のバーベキュー大会、国際井戸端会議と称する外国人の方の講演会です。

料理教室は、毎回異なる外国の方にお国の料理を紹介していただき、参加者皆で作ってテーブルを囲んでわいわいがやがや、いろいろな話題で盛り上がります。話題は、料理に関することからその方の国の文化まで及びます。バーベキュー大会は、米子近辺のたくさんの外国人の参加があり、家族での参加も多く、ここで旧交を温めたりする人もいます。

昔と違って、今では外国人の数も増して交流の機会が多くなりました。これからもいろいろな国の文化を持った人との交流を通して文化的視野を広げ、多文化共生がごく普通になるのを目指したいと思います。



▲インドネシア料理教室(ソト&プルクデル&クレポン)

お問い合わせ

〒683-0845 米子市旗ヶ崎9-19-3
米子国際交流協会(川端様方)
TEL/FAX:0859-29-5104

財団で

「ボランティア」しています!

鳥取県国際交流財団では、国際交流ボランティア制度を設けています。このコーナーでは、各種ご登録いただいているボランティアの方に日ごろのご活動等について紹介していただきます。

第2回目は、「日本語教育」にご登録の久野祐子さんです。

久野さんは、財団米子事務所が実施している日本語クラス(毎週日曜日)で活動中です。

◆日本語ボランティアを始めたきっかけは?

誰かをお手伝いすることで自分の余暇を充実できたら...と思っていた頃、年長の知人が長くボランティア活動をしているのを知り、「スキルがなくても、設営などの裏方なら一緒に活動できる」と飛び込んでみました。

文化・習慣の全く異なる知らない場所で、一生懸命頑張っている海外の方は予想以上に多く、サポートするボランティアの「数」の必要性を実感しています。力仕事ではなく、日本語の使い方毎回冷や汗をかきますが、他の文化を直に感じる事ができる機会を楽しんでいます。



▲日本語クラスで活動中の久野さん(中央)

◆活動の中で心に残ったこと、嬉しかったこと

ある暑い日、一人の学習者さんから、「今日は暑いからどうぞ」と、冷たいペットボトルのお茶をいただきました。ほとんどの学習者さんは、仕事をしながら、悪天候でも時間をかけて、はるばるクラスにいられています。「車で何の苦労もなく到着している私とは全然違うのに」と、とても申し訳ない気持ちになりましたが、とても嬉しく思いました。

趣味で××年学んでいる私の英語力はまだ幼児レベルですが、学習者さんの多くは、学び始めて数か月・半年で、ひらがなやカタカナ、文法や漢字まで一通りこなしていきます。当たり前で頑張っておられる純粋な姿勢に、いつも刺激されています。



▲日本語クラスの様子

◆国際交流ボランティアに関心がある方々へのメッセージ

「中途半端な活動は迷惑では」というイメージを持っていませんか?責任感は大事ですが、色々な事情の方の善意の集まりなので、「できる時間」に「できる範囲」で活動することが大切だと思います。学習塾のように、効率的にきっちり日本語を教えたい方には物足りないかもしれませ

んが、幅広い顔ぶれが学習者さんの経験を広げるので、まずは参加されることをお勧めします。

サポートする内容として学習内容は基本的な日本語です。基本的すぎて説明できない言葉があったりと、私にとって自分自身の日本語の再確認にも役立っている楽しい経験となっています。



▲日本語クラス 修了式で

JICAデスクより

ジャイカ JICAボランティアを紹介します



2018年7月出発

芝田 ゆき奈さん

(派遣国ケニア/米子市出身/コミュニティ開発)

ケニアでは、コミュニティ開発隊員として小規模農家の所得向上に向けた活動や小学校の農業クラブの指導を行う予定です。任地は、ケニアで一番農村部と言われているサバティアという所です。何事も挑戦で戸惑うことも多いかと思いますが、現地の人々のアイデアと自分が行う活動を上手く馴染ませながら、良きコミュニティづくりの模索を行っていききたいと思います。ともあれ、健康第一で、2年後、日本社会にケニアでの活動が大きく還元できるよう精一杯活動を頑張りたいと思います。



2018年7月出発

加納 禎子さん

(派遣国エジプト/琴浦町出身/PCインストラクター)

私はPCインストラクターとして、エジプトのピラミッドがあるギザに派遣されます。現地では、学校を巡回しながら小学生を対象にパソコンの授業を行ったり、学校の先生のスキルアップのための指導を行う予定です。

開発途上国では、まだまだPCの普及が十分ではなく、PCに触れる機会も多くありません。その機会に携わらる中で、彼らが少しでもPCに興味を持って自ら学んでいけるような関わりや、彼らの世界が広がり豊かになるようなスキルを習得する手助けをしたいと考えています。



TPIEF Bulletin International Exchange Festivals

Free admission and open to all

East

30th Annual TIME Festival

Time	11AM – 3:30PM (Sunday) 21 October 2018
Venue	Torigin Bunka Kaikan (101-5 Shotoku-cho, Tottori City)
Sponsor	TIME Festival Executive Committee
Co-Sponsor	TPIEF

Experience the world through a taste of a number of cultures!



Central

Kurayoshi International Exchange Festival: One Earth, Connecting with a Smile

Time	11AM – 3PM (Sunday)(tentative) 25 November 2018
Venue	Houki Shiawase no Sato (458 Koda, Kurayoshi City)
Sponsor	The Kurayoshi International Exchange Festival 2018 Organizing Committee and TPIEF
Co-Sponsor	Tottori College

Looking for participants!
(Signup deadline Thursday, 20 September)



West

Yonago International Exchange Festival: Connecting Yonago & the World

Time	11AM – 3PM (Monday compensatory holiday) 24 September 2018
Venue	Yonago Culture Hall (293 Suehiro-cho, Yonago City)
Sponsor	Yonago International Exchange Festival Executive Committee, Yonago City, and TPIEF

A chance to enjoy the world restaurant, stage performances, panel displays, and all sorts of cultural experiences for a taste of the world!

Volunteering! at TPIEF

TPIEF operates an intercultural volunteering system. In this corner we are pleased to showcase a variety of our registered volunteers and the activities in which they are involved.

This second installment introduces Yuuko Kuno, who signed on to teach Japanese language. Ms. Kuno helps us with the Japanese language class (weekly on Sunday) held at our Yonago Office.

Why I volunteered to teach Japanese

I had been thinking about how to use my free time to help people, when I knew that a longtime acquaintance had been doing volunteer work for quite some time, and I decided to make the plunge, thinking, "Even though I don't have any skills, I could work behind the scenes in construction or something." I'm now finding out there are a

great many people from overseas, working hard in a place where culture and customs are totally different, and really seeing the need for more support volunteers. Though it's not physically demanding, I still break out in a cold sweat about Japanese language usage—but I enjoy the chance for direct contact with other cultures.



▲Ms. Kuno (centre) with a Japanese language class

An experience that stayed with me

One hot day I was given a bottle of cold tea by one of my students saying, "Here, it's hot today." Almost all the students have jobs, and they spend the extra time and bear the bad weather to do their best in these classes. I kept thinking how different it was, how easy it is for me just coming by car—but I was happy to receive the tea. My English ability is false-beginner level and

hardly up to par, but these students start from the beginning and are working up to hiragana, katakana, grammar and kanji in the space of a few months to half a year. They simply take it for granted that they should work so hard, and it's always so encouraging to see.



▲Japanese language class

To those interested in becoming language volunteers

Were you expecting me to say, "Don't bother if you're not serious about it"? Well, responsibility is certainly important, but people come from all kinds of different situations, and being able to do some good with the time you have and within your own limitations is what really matters. It might not be satisfying for those who want to teach Japanese properly and

efficiently like at a juku, but having a diverse lineup broadens the students' experience, and I'd advise anyone to just give it a try. The support you'd be offering is with the basics of the Japanese language. Sometimes there are things so fundamental they're hard to explain, and for me, having to recheck my own language is part of the fun.



▲Closing ceremony

来自TPIEF 国际交流欢乐节

入场免费 任何人都能轻松前往

东部

第30回タイム 国际交流欢乐节

时间	平成30年10月21日(日) 11:00~15:30
地点	とりぎん文化会馆 (鸟取市尚徳町101-5)
主办	タイム国际交流 欢乐节实行委员会
协办	公益财团法人鸟取县国际交流财团

接触各国文化全方位感触
世界!



中部

仓吉国际交流欢乐节 ~地球只有一个☆ 大家用笑脸来链接!~

时间	平成30年11月25日(日) 11:00~15:00(预定)
地点	伯耆しあわせの郷 (仓吉市小田458)
主办	仓吉国际交流欢乐节2018实行委员会, 公益财团法人鸟取县国际交流财团
协办	鸟取短期大学

现在正在募集参加团体!
(报名截止时间:9月20日(四))



西部

米子国际交流欢乐节2018 ~从这里连接世界和米子~

时间	平成30年9月24日(一·节假日) 11:00~15:00
会场	米子市文化ホール (米子市末広町293)
主办	米子国际交流欢乐节实行委员会 米子市 公益财团法人鸟取县国际交流财团

有世界各国食堂·舞台表演·图片展示 &
文化体验等多种计划☆
走啊!去世界各国看看!

■ 我在财团当「志愿者!」

鸟取县国际交流财团设有国际交流志愿者制度。在这里、登录着各种各样的志愿者,同时还介绍志愿者平时的活动情况。

第2回介绍「日语教育」登录的久野祐子。久野祐子在财团米子事务所举办的日语学习班(每周星期天)从事志愿者活动。

◆ 从事日语志愿者的开端

正当我想着要充实自己闲暇的时间,想着做什么能够帮助人的时候,我认识的一位熟人长期从事志愿者活动,据他说:「即使没有什么技能,能做些准备工作就可以一起活动」于是我就尝试着加入了。

文化·习惯完全不同的外国籍人士生活在陌生的环境里,他们努力地适应着一切,人数比我想像

的要多,同时感到志愿者人数的需求也不少。尽管不是出力气的工作,但是每次用语法练习日语都会紧张的出汗,我非常高兴能有机会直接接触其它文化。



▲活跃在日语学习班的久野さん(中间)

◆ 在活动中印象深的事情、高兴的事情

一个大热天,有一位学生对我说:「今日は暑いからどうぞ(今天很热,请喝茶)」他给了我一瓶凉茶。几乎所有的学生都是一边工作一边学习,天气不好也得花时间从很远的地方赶过来上课。和他们相比我开车来也不辛苦,当时感到很过意不去,但是也很高兴。

我长年的兴趣所学的英语只不过是幼儿园水

平,学生们的很多人从开始学习日语才几个月就可以熟练掌握平假名和片假名、语法和汉字。大家努力学习日语的样子总是激励着我。



▲日语学习班的状态

◆ 给对日语志愿者有兴趣人士的信息

「半途而废会不会给人添麻烦?」抱有这种思想的大有人在。责任感固然重要,但因为大家都是善意的汇聚,在「可能的时间里」做力所能及的事情好。在培训班那样想高效率教日语的人士可能会有不满足的地方,但在这里能见到各种各样的学生,拓宽视野,首先推荐您参加。

支援学习内容原则上是基础日语,但有时太基

础了让我不知如何说明。此时能有机会让我重新检视自己的日语,觉得这是很棒的经验。



▲修了式



財団職員の

「ここが違って おもしろい!!」



ゼノストレメイン
国際交流コーディネーター(英語)

今年の夏もかなり暑かったですね。

初めて来日したときから、一年を通して私が惑わされたもののひとつに、日本の人たちがよく言う「日本の四季」に対する自賛がありました。

実はこういう概念は私にとって不可解な謎でした。なぜなら、ニューヨーク育ちとして小さい頃から慣れ親しんでいた四季は、日本の「四季」よりもずっと分かりやすく、ひとつひとつの季節も同じくらいの期間だったからです。一方、私が日本で最初に住んだ長野県は

「冬」が半年くらいあると感じるほどでしたし、次に住んだ静岡県では、反対に「冬」と言える季節がないように感じました。鳥取へ越してからも「四季」を感じることはほとんどなく、冬と夏の間に数週間ほどやや快適な期間があるくらいに感じていました。

最近、ようやく「昔は日本も四季がはっきりしていた」ということを知り、周りの人が言っていることが理解できました。今や地球規模で環境が大きく変化してきました。皆が環境問題に真剣に取り組み、「美しい四季」を維持し続けていきたいです。



今回の料理は ホット・ロッド Hot Rods



このレシピは私がカナダにいた頃に食べていたレシピで、カナディアンスタイルのデザートです! お好みにドライチェリーやレーズンを加えても美味しいですよ。

シオン マクフェルさん



材料(約30個分)

- ・バター …… 125ml
- ・牛乳 …… 125ml
- ・ココアパウダー 60g
- ・砂糖 …… 450g

材料A

- ・刻みココナッツ 85g
- ・オーツ麦 …… 270g

■作り方

- ①フライパンにバターを入れ、弱火で溶かす。
- ②牛乳を加えて混ぜる。
- ③ココアパウダーと砂糖を少しずつ加え、弱火で5分間混ぜ合わせる。
- ④火を止めて、Aの材料を加えて混ぜ合わせる。
- ⑤キッチンペーパーの上に、生地をスプーンで一塊ずつ置く。
- ⑥室温でしばらく冷まして完成! (冷蔵庫で冷やしても良い)

本所

Head Office / 本所

〒680-0846
鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3階
TEL.(0857)51-1165 FAX.(0857)51-1175
E-mail / tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~18:00 土・日 9:00~17:30
祝日・年末年始はお休みです



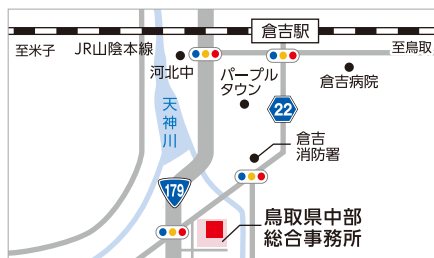
倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東巖城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL.(0858)23-5931 FAX.(0858)23-5932
E-mail / tick@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 8:30~17:15 土日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



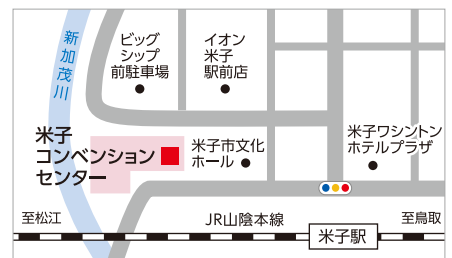
米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F
TEL.(0859)34-5931 FAX.(0859)34-5955
E-mail / ticy@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日・日 9:00~17:30
土・祝日・年末年始はお休みです



配信中! 登録無料!

- 国際交流イベント情報メールマガジン「☆TIM☆」(日本語) 鳥取発!
- 携帯版多言語メールマガジン「TORIMO」(英語、中国語、タガログ語)



公益財団法人 鳥取県国際交流財団
<http://www.torisakyu.or.jp>

